

**経営理念**：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

**保育の方針** 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします

3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

**保育目標** ◆じょうぶな身体（健康）◆たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）

## かもしか5歳児

令和5年10月17日（火）

文責 長沼由美

先週は、園庭外にある畑に行き、芋ほり・じゃがいもの種植えを行いました。今年は穴ぐまに芋畑を荒らされてしまい芋の数がとても少ない中でしたが、子どもたちは自分たちで「美味しい焼き芋が食べられるように！」と楽しみに草取りをして育ててきたので掘り起こして中に大きい芋があると喜んでいました。今週のクッキングで早速使って食してみたいと思います。

### 「最高の年長児さんの姿でした！」～園生活最後の運動会～

10月7日（土）、年長児である子どもたちにとって園生活最後の運動会でした。子どもたちは普段の保育活動の中で色々なことに取り組みながら、「お父さんやお母さんたちに見てもらおう！」「運動会、楽しみ！」という思いを口々にしていました。以上児クラスになり、3歳児の時より・・・4歳児の時より・・・という成長過程を見てもらいながら最終クラスの5歳児で子どもたちの取り組んでいる姿が少しでも本番で見えたらという気持ちで私も子どもたちと共にきました。「先生、見ててね！」と少しずつ上手くいった姿を見せてくれる場面、初めての竹馬にやりたいけど思うようにいかずに苦戦している場面、友だちと力を合わせて逆上がりに挑戦する場面、手や足の指に何度もマメを作り、潰して「もう痛いから・・・」と心がおれてしまう場面、子どもたちは出来たことに喜び、思うようにいかないことに葛藤しながらも何度もやる気を見せて自分のこととして向き合っていました。私は声をかけ、何度も一緒に1つ1つを行っていく事で個々の思いに少しでも共有・共感していけるように努めていました。当日の子どもたちの始まる前の緊張の表情から競技が開始すると切り替えて楽しみながらも最後まで全力でいく姿に最初から私の方が感動させられました。そして、その姿に私の緊張も子どもたちと出来る楽しみ、喜びに変わっていました。『野を越え山越え』の競技では、雲梯や登り棒など自分で決めて最後まで諦めずにやり遂げていく子どもたち。普段以上の力が発揮されていました。ソーラン節、親子リレーも年長児さんだけの特別なことにも笑顔を見せて全身で楽しんでいるかのように私には見えました。競技に出る前の編成場所で子どもたちと待っている時に「次は～だからね！みんな、楽しもうね！」とその都度、声かけしていましたが子どもたちは私が思っている以上の力を発揮して、やるぞという思いを出し切ってひとり一人がいい笑顔を見せてくれていました。それだけ、子どもたちが『運動会』に向き合ってきたからこそだと思います。子どもたちの思いが形として現れ保護者の方々に見ていただくことが出来て本当に良かったと思います。最高の年長児さんの姿でした。運動会後の子どもたちは、1つ大きな行事がまた終わり、嬉しさ・楽しさ・達成感などが自信や次への挑戦する気持ちへと繋がっているのを感じます。年長児としての残りの日々での姿がまた楽しみです。次の挑戦は『高千穂峰の登山』です。体調を整えながら登山の日を迎えられたらと思います。

運動会準備、当日の片づけまで保護者の方々にはお忙しい中ご協力をいただき、有り難うございました。



★お知らせ★

\* 10月20日(金)はお弁当の日です。お弁当の準備を宜しくお願い致します。

\* 10月21日(土)は大隅北校区の秋祭りです。出演時間・・・6時予定 ※お迎えを宜しくお願い致します。

\* 10月23日(月)は『登山』になっています。先日配布した手紙をご覧になり、準備を宜しくお願い致します。

★午睡について・・・年長児は運動会后、就学に向けて午睡時間が無くなります。23日に「登山」(延期30日)を予定していますので、それまでは体を休められる時間を作りたいと考えています。10月いっぱい午睡をしますの準備を宜しくお願い致します。